

マロン マインドカラー

<使用説明書>

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- 非酸化染毛剤はまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

**1剤と2剤を
混合しないで
ください。**

1剤2剤は別々に
時間をおいて使用します。

医薬部外品 内容量 1剤 70g・2剤 70g

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用方法、その他についてご質問がありましたら、
お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室 ☎0570-032525

受付:土・日・祝日を除く10:00~12:00/13:00~17:00

AF.A

色調

- ※N・Sはいずれも紫色から濃い青を感じる色味に染め上がります。
- ※染め上がりの色はご使用前の髪色や髪質、ご使用時の室温によって変わります。また、褪色の色味も髪質によって変わります。
- ※B(明るいブラウン)は黒髪を明るくすることはできません。白髪を明るく染め上げます。
- ※暗い色を使用した上から、B(明るいブラウン)を重ねても明るくなりません。

	N	S	B
色調	自然な黒褐色	ソフトな黒褐色	明るいブラウン

マロン マインドカラーは1回目には染まりにくいことがあります。回数を重ねるにつれて、よく染まるようになります。次回もマロン マインドカラーのご使用をおすすめします。

ヘアカラーをするときのご注意

- パーマをかけている方がマロン マインドカラーで染毛する際は、染毛でウェーブが伸びることがあります。
- 一般の染毛剤(ジアミン系の白髪染め)が使えない方でも使えます。

この製品で染め重ねた髪に一般の染毛剤を使用しないでください。地肌に刺激を感じたり、髪をいためたりすることがあります。

- ※逆にこれまで一般の染毛剤をご使用の方が、マロン マインドカラーを使われることは、さしつかえありません。
- 1箱でセミロング程度の髪まで染められます。毛量の多い方は2箱ご準備ください。

パーマをかけるときのご注意

- 染毛の前後1週間はパーマをかけないでください。
- 理美容室にマロン マインドカラーで染毛されていることをお知らせください。(この説明書を美容院にご持参の上、下記の枠内をお示しください。)

理美容室の技術者の方へお願い

- マロン マインドカラーで染めた髪は、パーマがかかりにくいので、1~2段階細めのロッドを使って施術してください。
- マロン マインドカラーで染め重ねた髪ほど、ウェーブが出にくくなりますので、ご注意ください。
- マロン マインドカラーで染め重ねた髪に過酸化水素タイプ2剤のパーマ剤を使用しないでください。地肌に刺激を感じたり、髪をいためたりすることがあります。

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ①今までに本品に限らず非酸化染毛剤がかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ①染毛の2日前(48時間前)には下記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ②頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、

刺激等を受けやすくなります。

- ⑤染毛の前後1週間はパーマウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ①換気のよいところで使用してください。
- ②必ず添付の手袋を着用してください。
- ③染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やすすく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑤薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすること

があります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

- ⑥染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑦染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

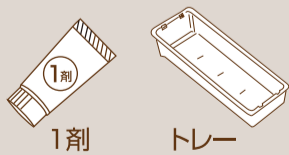
4. 保管上のご注意

- ①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ②高温や直射日光をさけて保管してください。

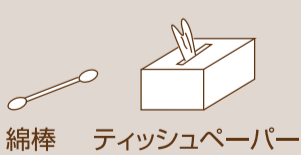
皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの

箱の中に入っているもの



ご用意いただくもの

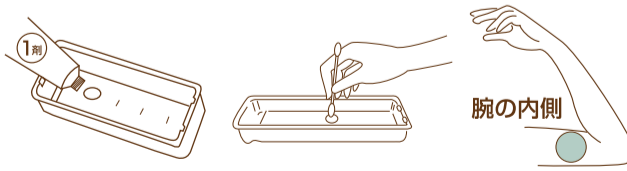


染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1 テスト液をつくります。

- マロン マインドカラー1剤のごく少量(2剤は必要ありません)を、トレーの上にだします。



2 テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合は、テスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テストの部位をぬらさないでください。

3 そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください。)

4 テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として、染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

5 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

- ※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

準備が
できたら
裏面に

